

町田市議会議員・ネット発信NO.1

吉田つとむ

ユーチューブ動画 860万回再生を突破



市内の保育施設の将来規模はどうか

今期議会の一般質問では、保育施設の現状を問い、「町田市の保育施設の受入人数の量的拡大はまだ続くのか。」と尋ねました、町田市内には2022年度で75人の待機児童がある。地域的には町田市の中で南地区と町田地区で人口が増加しており、その地域で待機児童が見込まれ、保育園の設置を見込んでいるという答弁でした。そこで、再度、南地区と言っても成瀬台方面等においては、子どもに限らず、多世代で人口減少しているが、そうしたエリアでも一律に保育園増加地域になるのかと尋ねました。答弁では、新設保育園の通園対象エリアは徒歩15分までを想定しており、特に南町田駅周辺などが新設保育園の設置対象になるというものでした。



町田市内では、すでに保育園定員を割る地域が出来ており、(大半が市営でないことから)保育施設の経営の存亡にかかわる事態も起きかねないことから、町田市の場合は、独自に推進した、「20年間期間限定認可保育所」がその調整弁として扱われる可能性はあるのかと尋ねましたが、それらが自動的に減少の調節対象にされるわけではないという答弁がありました。保育園にも経営力が求められる時代を迎えたのでしょうか。

小倉監督を町田市の表彰対象に

日大三高の小倉監督は監督26年目を迎えて、春夏の甲子園出場が合計17回、メインの夏の大会で2回の優勝経験も持っています。その小倉監督は本年度で教職を終わり、新しい立場で指導を続ける意向が伝えられています。町田市はこれを機会に、(はなむけの言葉に相当する)特段の内容を町田市が贈るべきではないかと提案しました。つまり、特別な表彰などが必要ではないかと提案しました。

すると、町田市の答えは冷たく、その戦績を具体的に述べることはあっても、町田市が評価をするべき立場ではない、表彰する制度は無いというものでした。思いがけないものでした。

高校野球の甲子園は、全国の郷里を背負っての戦いです。これほど、町田市のことを情報発信してくれているものはありません。これを小倉監督という一人の高校野球監督が成し遂げてきたものです。この小倉監督のような人物は、特別な表彰を求めましたが、制度が無いと町田市は否定されました。私から話としてはあえて出さなかったが、「名誉市民」に推挙されるべき人物だと今も考えています。



今年も神宮球場に通いました。優勝戦の応援

◎町田市議会は定数36名。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が4名です。吉田つとむは、「無所属」という3名の会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の3名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

＜編集発行＞
〒194-0011 町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



町田市がオブザーバー参加する

八王子市都市戦略課を訪れ、同市が参加する「中核市」のことを尋ねた際、町田市が中核市市長会にオブザーバー参加しているとのことでした。初耳です。町田市が、中核市(都市の権限が大きい)にかかわっている、さらに、町田市が中核市市長会にオブザーバー出席をしているなど、市政方針の中にもその表現はなく、町田市の広報物にも見たことが無いことで、オブザーバーとはどういうものを改めて尋ねました。そのオブザーバー参加と言うのは、町田市長が中核市市長会に出席できるのでなく、担当職員が会議に出席しているというものでした。

そこで、質問の趣旨を、「町田市が中核市市長会のオブザーバーとして参加していることを、議会や市民のどのように広報したか」という点に置き、その拡大を求めることにしたのです。これは、明らかに自分の政治的な主張として後退するものですが、私自身は町田市が中核市を目指すことを求めてきたわけであり、かつ、町田市が中核市に係ることは良いことだと思っているためです。そこで、今後の重点をオブザーバー参加の活動内容をより幅広く広報を行い、市民自身が議論できる場を確保すべきだと思っています。



右側のスーツ姿が、八王子市都市戦略課長

町田市議会審議と市長の在り方

多くの議員の質問に対して、市長は、「担当者に答えさせます」と言って答弁席を離れたまま、自席を終了まで一度も立たないケースが目立っています。私の目測では、議員に区分けを施し、担当者しか出さない議員、副市長や教育長を出させる議員、選別した上で、自分が好きなテーマでは自分が答弁すると選択しているようです。町田市議会の会議では、それが当たり前ですが、これは普通ではありません。行政と議会が対等としてお互いに敬意を持っておれば、まず第1回目の質問には、市長が答弁する、あるいは独立性を持っていた教育委員会の答弁では、そのトップが答弁するのが習わしだと理解していますが、町田市議会では、そのふしが見当たらず、私はあきれています。他の議会や国会ではこうしたやり方は珍しいでしょう。市長が務めていた横浜市は調べたことがありません。



例示として、相模原市議会を調べてみると、議員の一般質問には、全て市長と教育局長が答える形式になっています。*参照:「さがみはら市議会だより」2022年8月1日発行で、内容は6月定例会の一般質問です。掲載する議員の一般質問に対して、どの政党会派(無所属をふくむ)の議員に対しても、市長か、教育局長が答えています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP

メールは
左記を添付
して送信



好評インターンシップは、第51期生を募集予定

インターン体験記②小林 怜奈

今回、私は町田市本町田にありますJA町田市が経営している育苗センターの方へ訪問させて頂き、責任者の青木様にお話を伺いました。育苗センターでは主に野菜な絵、花苗の育成・販売を行っているそうです。また農家の方が持ち込んだ種や苗を育てることや一般の方が家庭菜園用に買い求めることもあるそうです。苗は敷地外で販売されており、苗の大きさはお客様のニーズに合わせて作られており、個数は1つから必要な分買えるそうです。



私はそもそも育苗センターが町田にあること自体知らなかったのでもっとも衝撃を受けました。他にも育苗センターの設備にトレーに土をまき、種を埋め、盛り土をかけ適量の水をかけるほぼ全自動の機械や気温や湿度等を自由に調節出来る機械、気温の変化に応じて開閉するカーテン等の設備を初めて間近で見ることが出来、とても貴重な機会を得られてよかったです。(設備に費用がかかるため他の自治体になく、横浜市や川崎市、練馬区から職

員の方が見学に来たそうです。)最後に私が今まで1番育成が大変だった苗の品種は何かと尋ねたところ、同じ品種でも毎回天候や気温等の条件が異なり、苗が早く成長することもあるれば逆に遅く成長することもあるためどの苗でも育てるのは大変だということでした。



*吉田) 今回のインターン研修先は、JA町田市の育苗センターを見学先にしました。この手配をしていただいたのは、町田市議会議員一期目の加藤真彦さんです。これまでJA町田市の職員として務めてきた人で、その縁を頼って依頼したものです。快く引き受けていただきました。有り難うございます。おかげで、このレポートにあるように、この日のインターン研修がスムーズに進みました。

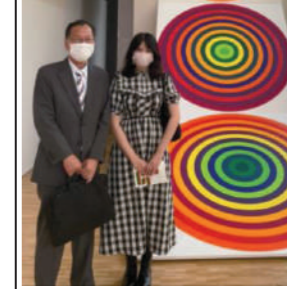


茨城大学1年生 小林 怜奈 (第50期生)

- ◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年8月末までに103名が参加しました。
- ◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- ◎夏季のインターンシップは引き続き第50期生となりますが、合計3名が参加中です。

インターンシップで若者育成の貢献
町田市議・完全無所属・良識ある保守

吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続けている

インターン体験記④近藤 咲月

本日は町田市庁舎を訪れ、見学を含めて保育・幼稚園課の粕川さんと門間さんと議員である吉田さんとの対話をヒアリングさせて頂きました。そして町田市の幼稚園・保育園の最近の事情や今後をどのように見通しているかなど町田市の施策への取り組みについて知ることができました。対話をヒアリングさせて頂く中で町田市の庁舎で「子ども生活部」という枠組みがあることを知り、主に市内の幼稚園や保育園を管理する部署であることが分かりました。このように「児童分野」を一括して管理する職があるということを知り、まだまだ知らない児童分野の職業を発見することに繋がりました。また市役所で働く「公務員」という職業の良さについてもお聞きすることができ、簡単になれる職業ではないものの、自分の将来の視野に入れて考えていきたいと思いました。



昭和女子大学2年生 近藤 咲月 (第50期生)

続いては南大谷子どもクラブ「MOCOMO」を訪れました。夏休みのお盆期間前ということもあり子ども達の人数は少なかったものの、子ども達の遊ぶ広場として、また保護者が子どもと過ごす場所として大きな存在であることが感じられました。遊ぶスペースは広くたくさんのおもちゃがあり、在宅での時間が増えた子ども達にとってもリフレッシュのできる場所であるように思いました。このような地域密着型の児童施設を見学することは自分自身にとってとても貴重な機会となりました。

- ◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。
- ◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が好評です。
- ◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

インターン体験記④下津陽菜乃

今回は神宮外苑地区にある日本青年館に伺いました。運営をされている一般財団法人日本青年館で働いている方からお話を聞くことができました。日本青年館はホテルやホールを運営しており、その収益を様々な公益事業によって社会に還元しているそうです。全国の青年団や青少年活動の支援だけではなく、郷土芸能や音楽活動、スポーツの振興、出版活動、文化事業や研究活動も行っているそうです。日本青年館が行っている活動の中で特に興味を持ったのは郷土芸能の振興についてです。私は東北に住んでいたことがありその地の郷土芸能に触れることが多かったのですが、日本青年館が郷土芸能の振興を支援してくださっていることで郷土文化の継承と発展ができていたのだと知ることができました。また、お話を伺った後日本青年館が運営している日本青年館ホテルのロビーを見学させていただきました。神宮球場を一望することができ、とても景色が良かったです。神宮球場が隣にあることからつば九郎が日本青年館ホテルの支配鳥として2021年から就任しているそうです。日本青年館についてのお話をたくさん聞かせていただくことができ、日本青年館の活動についてとても興味を持ちました。



昭和女子大学3年生 下津陽菜乃 (第50期生)